

2025年度資格試験「損保数理」における試験問題の誤植について

2026年2月16日
試験委員会

2025年度資格試験「損保数理」における試験問題のうち、問題1(1)(イ)におきまして、問題文に誤植がありました。そのため、当該問題を以下のように訂正いたします。また、当問題については全員に配点を行います。

問題1(1)(イ)

【誤】

保険金の平均支払額として D_1 、 D_2 を次の通り定義する。このとき、 $D_1 \div D_2$ の値に最も近いものは ② である。ただし、条件は下表のとおりとする。

【正】

保険金の平均支払額として D_1 、 D_2 を次の通り定義する。このとき、 $D_1 \div D_2 - 1$ の値に最も近いものは ② である。ただし、条件は下表のとおりとする。

D_1 : 当年度始期契約に基づき支払われる保険金の、事故1件あたり平均支払額

D_2 : 当年度に支払われる保険金の、事故1件あたり平均支払額

契約の始期	すべて4月1日(年度はじめ)
契約の保険期間	1年間
契約件数の増加率	毎年+2%
事故頻度の増加率	毎年+5%
保険金支払パターン (各事故の保険金は1度に支払われる)	支払年度: 事故発生年度と同一年度 50% 事故発生年度の翌年度 50% 支払単価: 事故発生年度と同一年度に支払われる場合と翌年度に支払われる場合で単価(インフレーション影響は除く)の比率は1:2とする
インフレーション率	毎年+10%(保険金の支払年度に応じて発現するものとする)

【②の選択肢】

- (A) 7.1% (B) 7.3% (C) 7.5% (D) 7.7% (E) 7.9%
(F) 8.1% (G) 8.3% (H) 8.5% (I) 8.7% (J) 8.9%

(下線部が該当箇所)

以上